

臨床検査基準範囲の変更履歴

変更日	項目	新	旧	備考	
2021.3.1	インスリン	1.2~9.0 μIU/mL	2.1~19.0 μIU/mL	測定機器、測定方法および試薬変更のため	
	C-ペプチド(血液)	0.67~2.48 ng/mL	0.74~3.18 ng/mL		
	C-ペプチド(尿)	40.1~86.1 μg/day	18.3~124.4 μg/day		
	テストステロン(男性)	1.87~9.02 ng/mL	242.0~972.0 ng/dL		
	テストステロン(女性)	0.50 ng/mL以下	10.0~75.0 ng/dL		
	TgAb	19.3 IU/mL未満	5.0 IU/mL未満		
	TPOAb	3.3 IU/mL未満	3.0 IU/mL未満		
	サイログロブリン	3.71~35.12 ng/mL	33.70 ng/mL以下		
2021/5/17	CA19-9	35.4 U/mL以下	40.0 U/mL未満	臨床検査法提要在第34版から第35版へ改訂されたため	
	好中球数	1500~7500 /μL	1800~7500 /μL		
2021/7/26	好塩基球数	50 /μL未満	200 /μL未満	臨床検査法提要在第34版から第35版へ改訂されたため	
	PT-INR	0.91~1.17	0.92~1.17		
2021/12/22	PT-sec	9.8~12.4	9.7~12.3	ロット変更(2021.7.26~)	
	サイトメガロウイルスIgG	SRLの総合検査案内をご確認ください	4 IU/mL未満: 陰性 4~6 IU/mL未満: 判定保留 6 IU/mL以上: 陽性		院内測定中止、SRLへ外注移行
	サイトメガロウイルスIgM		0.70 TV未満: 陰性 0.70~0.90 TV未満: 判定保留 0.90 TV以上: 陽性		
	風疹ウイルスIgG		10 IU/mL未満: 陰性 10~15 IU/mL未満: 判定保留 15 IU/mL以上: 陽性		
	風疹ウイルスIgM		0.80 TV未満: 陰性 0.80~1.20 TV未満: 判定保留 1.20 TV以上: 陽性		
	ムンプスウイルスIgG		0.35 TV未満: 陰性 0.35~0.50 TV未満: 判定保留 0.50 TV以上: 陽性		
麻疹ウイルスIgG	0.50 TV未満: 陰性 0.50~0.70 TV未満: 判定保留 0.70 TV以上: 陽性				
2022/1/13	PT-INR	0.92~1.19	0.91~1.17	ロット変更(2021/1/13~)	
	PT-sec	9.6~12.3	9.8~12.4		
2022/2/10	T-Ly	58~84 %	59~88 %	スタンダードフローサイトメトリー 第2版 日本サイトメトリー技術者認定協議会編より引用	
	B-Ly	5~24 %	4~26 %		
	NK	10~38 %	2~26 %		
	CD3+4+	25~56 %	29~65 %		
	CD3+8+	17~44 %	13~40 %		
2022/3/23	CD4/CD8	0.6~2.9	0.6~2.9	測定機器、測定原理および試薬変更のため	
	SCC抗原(扁平上皮癌関連抗原)	0.24 ~ 2.52 ng/mL	1.5 ng/mL以下		
2022/4/12	IgG4	14.6~117.0 mg/dL	4.5~117.0 mg/dL	測定下限値変更のため	
2022/10/28	コレステロール(血液)	7.1~19.6 μg/dL	AM 6~10: 7.07~19.6 μg/dL PM 4~8: 2.96~9.77 μg/dL	コレステロール血中濃度については、使用しているステロイドなどの薬剤使用歴、日内変動、ストレス、下垂体機能などの影響を受けるため、評価は包括的なものとなります。一概に基準値を設けにくいため、参考値としてお示しします。	
2022/12/21	TSH	0.61~4.23 mIU/L	0.33~4.05 μIU/mL	ハーモナイゼーションにて設定された基準範囲の採用に伴う変更。 ※当院で使用している測定試薬は補正係数1.00であるため、変更前後の測定値に影響はありません。	
2023/9/19	CMV核酸定量	検出せずまたは 定量下限未満	設定なし	結果報告方法変更のため	
2023/10/3	大腸菌O-157抗原		陰性	院内測定中止のため	
2023/12/26	SARS-CoV-2抗原(唾液)		陰性	院内測定中止のため	
	HCV-RNA核酸定量		ケンシユツセス	外注委託化(OML)のため	
2024/2/14	APTT	24.0~34.0	26.9~38.1	測定試薬変更のため	
2024/2/15	第Ⅲ凝固因子活性	60~140	70~150	測定試薬変更のため	
	第Ⅴ凝固因子活性	60~140	70~120		
2024/3/26	シスタチンC	(男性)0.63~0.94mg/L (女性)0.52~0.85mg/L	(男性)0.63~0.95mg/L (女性)0.56~0.87mg/L	測定試薬変更のため	
	リウマチ因子	15IU/mL以下	16IU/mL未満	測定試薬変更のため	
	SARS-CoV-2核酸検出(BD MAX)		陰性	院内測定中止のため	
2024/5/17	MAC核酸同定		陰性	外注委託化(OML)のため	
	UGT1A1*28,*6遺伝子多型解析	*6,*28ともに多型を持たない ワイルドタイプ	設定なし		
2024/7/9	PT-INR	0.9~1.15	0.92~1.19	JCOG共用基準範囲より引用とする運用に変更のため	
	PT-sec	9.9~11.8秒	9.6~12.3秒	PT試薬添付文書より引用とする運用に変更のため	
	好中球数	1500~7500/μL		臨床検査法提要在り引用とする運用に変更のため	
	リンパ球数	1000~4000/μL			
	単球数	<800/μL			
	好酸球数	100~500/μL			
好塩基球数	<50/μL				
経食道超音波	削除			検査部として実施していないため	
2024/10/4	腹部超音波	<胆管> 肝内胆管の径が4mm以上、肝外胆管(左右肝管を含む)径が8mm以上を拡張とする 胆嚢摘出後や胃切除後、高齢者では肝外胆管径が拡張することがある	<胆管> 左右肝管の径が4mm以上、総胆管径が8mm以上を拡張とする 胆嚢摘出後や胃切除後、高齢者では肝外胆管径が拡張することがある		
		<脾臓> 体格や脾臓の形態、下記の計測法を参考にし、腫大を評価する 1) 千葉式: 脾門部から下極端までの距離(a)cm × 脾門部での厚み(b)cm ≥ 20cm ² 2) 古賀式: 後上線と前下線の距離(c)cm × 脾門部を起点に直交する径(b)cmに恒数(正常0.8、肝炎0.9)を乗じた値 ≥ 30cm ²			
		<腸臓> 最大径で10cm ≦ を腫大とする			
		<腸臓> サイズの目安は頭部30mm、体部20mm、尾部25mm以下	<腸臓> 1) サイズ(横断走査) 腸頭部: 3cm以下、脾体部: 2cm以下 全体のバランスに注意し、個人差を考慮する		
		<尿管> 尿管径は3mm未満 尿管は加齢とともに拡張する傾向があり、経時的な変化もある	<尿管> 尿管径は3mm未満 軽度の拡張は非特異的な場合もあるので注意する		
	<腎臓> 長径は8~12cm	<腎臓> 長径は約10~12cm、短径が5~6cm 通常は右腎に比べ左腎の方が少し大きい			
	甲状腺超音波	<健康成人: 甲状腺> 横径: 1~2cm、縦径: 4~5cm、厚み: 1~2cm <健康成人: 副甲状腺> 長径3mm程度	<健康成人: 甲状腺> 横径: 1~2cm、縦径: 4~5cm、厚み: 1~2cm <健康成人: 副甲状腺> 横径: 2~4mm、縦径: 4~6mm、厚み: 1mm		
2024.12.25	尿中グルコース(随時尿)	2~20mg/dL	設定なし		
	尿中グルコース(24時間尿)	30~130mg/day 0.03~0.13g/day	設定なし		